



幼児の保護者の方へ



自転車は車両です！

お子さんを正しく自転車に乗せましょう！

幼児（6歳未満）を同乗させる際のルール・注意点

2人乗り

幼児（6歳未満）1人を幼児用座席に乗せて運転できる



3人乗り

一定の基準を満たした幼児2人同乗用自転車であれば、3人乗りが可能



BAAマーク



SGマーク



〔幼児2人同乗基準適合車〕等の表示

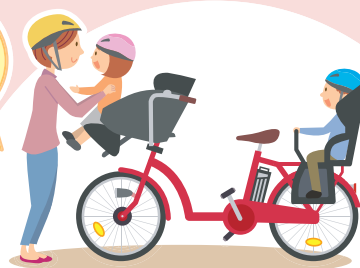
自転車店で確認を

※16歳以上の者が運転する場合に限る

幼児2人を乗せる時の注意点

- 平らな場所でスタンドを立て、ハンドルロックをする
- 年長の幼児を後部座席、年少の幼児を前部座席に乗せる
- 乗せる時は「後部→前部」、降ろす時は「前部→後部」の順番で
- ハンドルロックの解除は、サドルに腰を掛けてから
- ヘルメットの着脱は自転車から降りている状態で
- 幼児用座席のベルトは必ず着用する
- 幼児を乗せたまま、自転車から離れない

バランスを崩しやすいので注意！



ヘルメットを着用させましょう

子どもは、成人と比べて、体に対して頭が大きく、転倒時に頭部を打つことが多くなります。

このため、道路交通法では保護者が**13歳未満**の子どもに対し、ヘルメットを着用させることを求めています。



自転車保険に加入しましょう

自転車事故への備えと被害者の救済を図るため、自転車利用者（未成年者の場合は保護者）は大阪府自転車条例により、**自転車保険**に加入しなければなりません。

自転車保険の種類		保険の概要
個人賠償責任保険	自転車向け保険	自転車事故に備えた保険
	自動車保険の特約	自動車保険の特約で付帯した保険
	火災保険の特約	火災保険の特約で付帯した保険
共済	傷害保険の特約	傷害保険の特約で付帯した保険
		こくみん共済coop、市民共済など
団体保険	会社等の団体保険	団体の構成員向けの保険
	PTAの保険	PTAや学校が窓口となり加入する保険
TSマーク付帯保険		自転車の車体に付帯した保険
クレジットカードの付帯保険		カード会員向けに付帯した保険

保険に加入していますか？



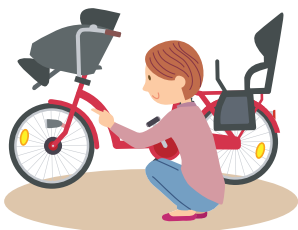
※自転車事故によって生じた他人への生命又は身体の損害を補償することができる保険又は共済をいいます。

点検整備をしましょう

日頃から、日常点検を心掛け、定期的に自転車販売店等で点検整備を受けましょう。

日常点検ポイント

- 反射器材の装着
- タイヤの空気圧
- ブレーキの効き
- サドルの高さ
- 幼児座席のネジの緩み
- ベル（警音器）の鳴り
- ライトの点灯



ルールを教えましょう

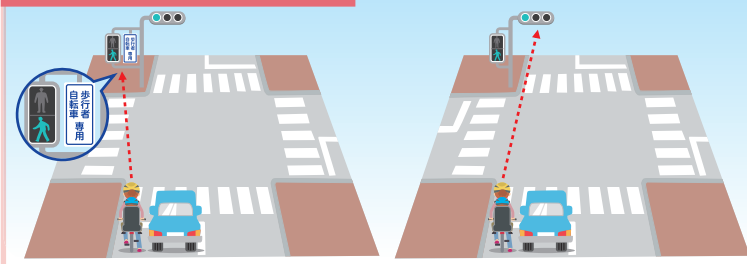
保護者は、子どもが交通事故を起こさないよう、交通安全教育を行いましょう。

子どもは保護者を見て成長するので、保護者自身が交通ルールを守り、マナーを高めましょう。



自転車のルール・マナーを守りましょう！

信号を守りましょう



「歩行者・自転車専用」
の標示板がある場合
→ 歩行者用の信号に従う

「歩行者・自転車専用」
の標示板がない場合
→ 車両用の信号に従う※

※ただし、歩道を走っているときは歩行者用の信号に従う

交差点での一時停止と安全確認

交差点では必ず安全確認をしましょう。「止まれ」の標識があるときは、必ず一時停止をしましょう。



ながら運転は禁止行為

スマホや携帯を
操作しながら



大音量※で音楽等を聴きながら



かさをさしながら



※大音量～警告音、緊急自動車のサイレン、警察官の指示等安全な運転に必要な交通に関する音又は声を聞くことができないような音量

自転車は車道が原則、歩道は例外



車道の左端を通行しましょう。



歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

次の場合は、歩道を通行できます

- 「歩道通行可」を示す標識等がある場合
- 自転車を運転している人が
 - ・ 13歳未満の子ども
 - ・ 70歳以上の高齢者
 - ・ 身体の不自由な人の場合
- 車道で道路工事をしていたり、駐車車両や交通量が多いなど、車道通行が危険な場合

電動アシスト自転車の正しい乗り方・注意点

1 法令基準の適合している製品を選びましょう

BAAマークやSGマークなどを確認して、安全基準に達した製品を選びましょう。

2 電源を入れる際は、両手ハンドル、両足地面

ペダルに足を乗せたままだとペダルの踏み込みを感知してモーターが駆動し、自転車が飛び出すことがあります。

3 急にペダルを踏みこまない

アシスト力が予想以上に加わり思った以上に速度が出てしまうため、転倒や衝突事故につながるおそれがあります。

4 いわゆる「けんけん乗り」はしない

自転車にまたがらずに片足で地面を蹴って乗る、いわゆる「けんけん乗り」は、不安定な状態で加速してしまうため、転倒のおそれがあります。

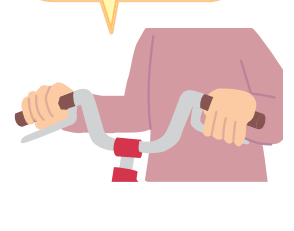
両足を地面に
着けて電源 ON!



「けんけん乗り」
はダメ!



早め早めの
ブレーキを!



5 車体が重いので早めのブレーキを

電動アシスト自転車の重さは一般の自転車と比べ重く、止まるまでの距離は想像以上に伸びるので、早めのブレーキを心がけましょう。